

TOMO食in県主&県主ぎんぎ朝市が、絶好の天気に恵まれ、2月4日開催されました。この企画は、かつてのにぎわいを取り戻そうと、県主小学校の5年生が総合的な学習の時間に「県主プロジェクト」の第2回目として、県主地区社会福祉協議会「ホッと一息しません?カフェ」に「TOMO食in県主」とのコラボレーションを誘いかけて実現したものです。

ここ数年、感染予防のために飲食を伴う活動が制限されてきましたが、少し落



TOMO食in県主&県主ぎんぎ朝市開催

第32号

発行
県の里まちづくり推進協議会
県主地区自治連合協議会
県主公民館
県主地区社会福祉協議会

社協理事 藤井千秋

ち着いてきて、手指の消毒や体温測定、マスク着用などの感染予防対策を徹底して行いました。

また、小学生の「県主の良さを広め、県主に来てもらいたい。」との思いからポスターを市内はもとより市外各地に掲示して、多数の方々にお越しいただきました。9時から11時半という、短い時間でしたが、ご来場の皆様には、楽しんでいただけたと思います。

イベントとしましては、作って楽しいワークシopp(オリジナルプレートの作成)・かしウオークラ

リー・スーパール釣り、輪投げ、そして食べ物として、和菓子のたむらさんの「わっ大福」・焼き鳥・プチお好み焼き・おでん・フランクフルト・いなりずし・市社会福祉協議会登録ボランティア「がつてん隊」による芋の天ぷらの販売をしました。久しぶりの「TOMO食in県主」の開催ということで、ボランティアの皆さんは、何度も試作して美味しいものにして提供しました。

お客様は、県主だけでなく、笠岡市、福山市など、市内外から300名以上の多くの方々に来場いただき、「県主ぎんぎ」と言われていた以前のにぎわいを取り戻せました。小学生をはじめ、関係者の努力によって、すばらしい朝市になったと思います。

次の開催は未定ですが、マスク制限などない中、どの



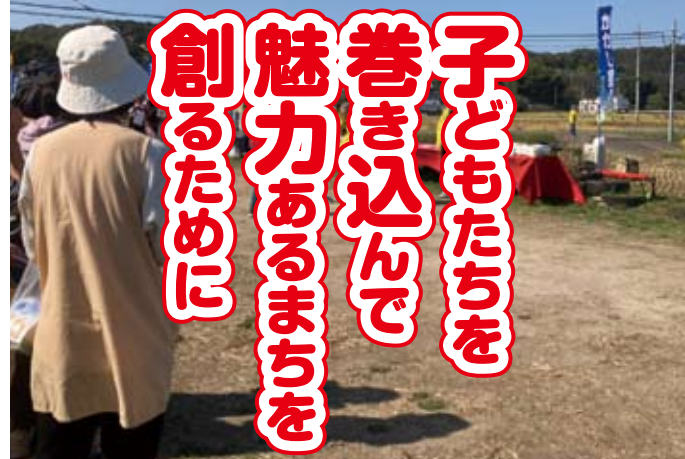
ような形で県主を盛り上げていけるか、各組織間で考えていきたいと思ひますので、皆様の益々のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

最後に、本朝市開催にあたり、ご支援・ご協力いただきました皆様、お忙しい中本当にありがとうございます。

県の里まちづくり推進協議会
会長 岡田章文

昨年の9月から、岡山県備中県民局の事業採択を受けて、地域おこしや関連事業の実施に興味のある大学生を地域と繋ぎ、現地での実践的な研修や交流をとおして、その地域の課題解決や活性化を考えていく「地域の課題解決支援事業」を実施しました。

これは、岡山大学や岡山商科大学の学生5人が「かしコンテスト」や「焼酎用さつま芋の収穫」「鳥羽



子どもたちを
巻き込んで
魅力あるまちを
創るために



- 踊り子ども伝承教室などの事業へ直接参加し、子どもたちとの交流をおとして、子どもの地域参加をテーマに地域課題を考え、県主独自の将来を見据えたプランづくり活動をするというものです。
- ① かしコンテスト作業の手伝い、ミニミーティング（9月4日）
 - ② 鳥羽踊りの体験、子どもたちとの初顔合わせ（10月15日）
 - ③ かしコンテスト表彰式、インスタチャレンジ（10月23日）



- ④ さつま芋収穫体験、子どもたちとの交流（11月19日）
- ⑤ 地域巡り、クリスマスミーティング（12月24日）

プラン発表（2月25日）
5回の現地研修とプランづくりを指導し、支えてくれたのがNPO法人「みんなの集落研究所」の永田愛さんと小野賢也さんです。数回のZOOM会議や学生たちとの打ち合わせ会議など現地研修以外の場でも多くのお力添えをいただきました。また、初めて県主を訪れた学生たちは、何から手を付けようかと戸惑っていました。一人ひとりに担当するスタッフが貼り付





プランの概要

県主の子どもたちを
魅力ある人間力の高い人材に育てる



子どもたちに地域への愛を
もっと深めてもらいたい

親子で体験できるイベント
がもっとあれば・・・
(芋ほり体験での感想)

▼どんな方法で?

県主の豊富な人材を活かして、親子で参加できる体験教室を増やす

メリット

- 地元の人と深く関わることで地元愛を深める
- 非認知能力を高め、幅広く活躍できる人材に
- 親世代もまちづくり活動に興味を持つきっかけに

▼このために 県主名人による体験教室を開催

県主名人100人出し

- 地域の皆さんで、県主にいる名人を挙げてみる
趣味などの得意な事 仕事で得た知識・技術
例：グラウンドゴルフ・野菜作り・編み物・裁縫・パソコン・
SNS・習字・詩吟・巫女舞・犬の訓練・防災士のお仕事・
お菓子作り・大工のお仕事・郷土芸能（鳥羽踊り）
- 子どもたちの手を借りる
子どもたちから大人へ（子どもたちも名人に）

▼結果として

県主名人による体験教室をとおして、地域の方と子どもたちがお互いに刺激を与えあうことによって、地域への愛が深まれば将来この地域へ戻ってきたいと思えるきっかけになる。

き、こまごまとした作業を一緒に取り組んでもらうことにしました。時には厳しい言葉や指導があったようですが、回を重ねていく内にまるで親子関係ができたような雰囲気生まれてきたようです。

5回にわたる現地研修やZOOM会議などをおして、学生たちは、具体的なプランを創ってくれました。



学生たちは、この活動をおして次のような感想を述べています。

- ・まちづくりの楽しさと難しさを学ばせてもらいました。
- ・プランの提案で終わるのではなく、施策にも関わっていききたい。
- ・自分のまちの活動にも積極的に参加したい。

今後は、県主名人100人出しを行い、プランの実行を図っていききたいと思えますので、地域内の各種団体のご協力をよろしく願います。





2/26

子守唄の里
高屋ひなまつりウォークに参加しました

県主のわだい



2/3

公民館玄関前にAED収納箱を設置
いざという時にいつでも使えるようになりました



1/29

まなびフェスタ in いばら

婦人学級・家庭教育学級・幼児学級活動の様子を紹介しました



1/21

便利屋さん事業
家に寄りかかる立木伐採もおこないます



2/4

県の里お花畑

みんなで美しいまちを創りましょう
(県主地域資源保全協議会)



門田楽寿会「出前講座」開催



令和 5 年 1 月 25 日（水）
県主公民館において、「高齢者の交通安全について」の出前講座を開催しました。井原警察署の岡本警部補をお迎えし、大変寒い中、多数の会員が参加され、貴重な身近なお話を受講しました。

高齢者の運転免許更新時に認知機能検査や違反歴のあるドライバーへの運転技能検査が義務付けられました。交通事故の発生状況や横断歩道は歩行者優先であること、また、マスキミの報道によりますと高齢者の重大事故が多発し、社会的問題になっています。アクセルとブレーキの踏み間違いが多い昨今ですが、

副会長 岡田 吉恵



ゆとりある安全運転に心がけましょう。

だれが被害者、加害者になっても困ります。本人はもちろんのこと家族も不幸になります。

今回の貴重な講座を糧にみんなで身を引き締めて事故のないように心がけましょう。有意義な出前講座でした。



とんど集会



ひとつくりネットワーク 森下和美

1 月 8 日、ひとつくりネットワーク協議会・地区社協・PTA・小学校先生などから多くの方の参加をいただき、櫓（やぐら）作りをおこないました。櫓は昨年から小型化をしています。材料の竹切り、藁の取り付けなど、従来とほぼ変わらない作業量を、参加者全員が勢いよく燃え上がる、協力しあい計画通りの櫓を組み立てることができました。

1 月 10 日、とんど集会では、正月に飾った注連縄の取り付け、児童・園児たちの習字や図画の飾り付けをおこない準備を終えました。校長先生の挨拶、PTA 会長による「とんどの由来」

について説明を受けた後、全員が見守る中で 6 年生がいよいよ点火。

当日は朝から風が強く期待していたような燃え上がりとはなりませんでしたが、点火後の炎の勢いや竹のはぜる音などに子ども達の歓声が上がりました。それぞれの願いが込められた焚き上げができたものと思います。

とんど集会に参加された皆様の無病息災、年度の目標が叶いますようお願いいたします。また、櫓作りに参加いただいた皆様の多大なご協力に感謝いたします。





社協会長 佐藤和子

昨年12月21日、井原市社会福祉大会で、生駒五三六さんが社会福祉功労賞を授与されました。長年にわたり、県主地区及び井原市の福祉向上の為に尽力してこられたことに対して、敬意を表します。

生駒さんは、県主地区民生児童委員、県主地区社会福祉協議会会長として活動される中で、他県の優れた活動を井原市へ取り入れ、「いきいきサロン」を立ち上げ、手作りの歌集やゲームを作って高齢者の集いの場の充実を図られました。

また、福祉委員の活動、児童クラブの立ち上げや支援に尽力されました。

さらに、県主小学校でのしめ縄作り、とんど集会、かずら細工作りなどで、現

在もボランティア活動に取り組んでおられることは、皆さん、周知の通りです。これからもお元気で、私たちのよきアドバイザーでいてください。



大谷山三十三観音巡り

社協理事 森本峰子

3月19日、52名の参加を得て大谷山三十三観音巡りが開催されました。

午前8時半、金剛福寺境内に安置された粉河寺千手観音にお参りし般若心経を唱え、出発しました。急な山道や平地をひたすら歩き次々に観音様を巡っていききました。

天気も良く、小鳥のさえずりが聞こえたり、子どもたちのきれいな歌声が森に響いて心安らぐひと時もありました。全員、元気に六道様まで帰ってきました。小学生の参加もあり、県主のよさを引き継いでくれる希望になりました。



県主ふるさと便送付

毎回発行の「みんなの県主」を送付します。

県主から転出された方や持ち家がありながら市外で生活されている方が、郷土の情報を得ることで、帰郷へつなげたり空き家対策などへの波及効果を期待しています。

年3回ですが登録して頂いた方に実費にて送付いたします。

問い合わせ先：県主公民館

行事予定のお知らせ

町民体育祭：5月28日(日)
納涼盆踊り大会

8月13日(日)

市民体育祭：10月1日(日)

防災訓練：10月29日(日)

ハウス祭り：11月12日(日)

県主公民館G・G大会

11月26日(日)

消防団からの お知らせ&活動報告



皆さんこんにちは！私たちは井原市消防団県主分団です。

令和 5 年 1 月 1 日から、消防団に関して変更があった内容をお知らせします。

◎令和 5 年 1 月からの本部体制は次の通りです。

【分団長】 石井 和昭

【副分団長】 北田 和成

【本部長】 岡本 好範

【本部長】 小寺 展弘

【副本部長】 森岡 正篤

◎井原市消防団の組織再編に伴い、県主分団も 1 部と 2 部が合併しました。

従来：1 部・2 部・3 部
令和 5 年 1 月 1 日から

1 部・2 部→1 部

3 部→2 部

活動報告

アフターコロナを見据え、各種行事が再開される中、地域の安心・安全を守るた



め、消防団も様々な活動を行っております。今回は、活動の一端を紹介させていただきます。

◎令和 4 年 11 月

県主地区防災訓練での初期消火訓練

◎令和 4 年 12 月

年末警戒巡視

◎令和 5 年 1 月

出初式

◎令和 5 年 3 月

春季火災予防運動パレード
県主分団式典

消防団からのお願い

◎たばこの火の不始末やストーブの使い方など十分注意してください。

火の近くには燃えやすいものを置かないようにしましょう。

◎留守中の火災は発見が遅れるため、大火につながりやすいものです。

外出の前には十分に火の元を確認しましょう。

◎火を使ったら、火が完全に消えるまでその場を離れないようにしましょう。

空気が乾燥し、風の強いこの時期は、火災が発生しやすくなっています。

◎どんな火災も最初は小さな火です。

119 番通報が早ければ、それだけ被害が少なくてすみます。

火災を発見したら、落ち着いて、場所をはつきりと消防署へ伝えましょう。



新入団員 募集中!



「自分たちの町を

自分たちの手で守る消防団」

県主の防災リーダーとして

活動しませんか!

私たち県主分団では、新入団員を募集しております。年齢 18 歳以上の井原市内に居住または勤務されている健康な方であれば入団できます。

「消防団員は特別職の地方公務員です」

入団を希望又は消防団に興味のある方は、お近くの消防団員にご連絡ください。※ツリーングやプラモデル、ラーメン屋巡りなど、様々な趣味を持つ仲間が待っています!

昨年のハウスまつりでは、消防団プラモデル部の有志がミニ四駆体験イベントを実施!子どもたちに大人気でした。





県の里まちづくり推進協議会

県の里まちづくり推進協議会のページで「みんなの県主」が閲覧できます。

【ホームページ】<http://www.agatanosato.jp>



去る3月12日(日)、鳥羽踊り子ども伝承教室の閉講式があり、練習期間約十カ月、延べ16回の練習の集大成を披露しました。発表会に臨んだ、小学2年生から5年生の八名は、踊りはもとより、太鼓・音頭も全て子どもたちで行い、保護者らの前で堂々と、とても素晴らしい発表を披露しました。

鳥羽踊り子ども 伝承教室を終えて

鳥羽踊り保存会 蔵本哲治

この鳥羽踊り子ども伝承教室は、鳥羽踊り保存会が、鳥羽踊りを後世に伝えようとして行っているものです。練習は、基本毎月第二と第四の土曜日に県主公民館で行ってきました。

練習開始当初は、前年度から継続して参加した子どもたちと新しく入った子どもたちとは新しく入った子どもたちとでは踊り方等に差がありましたが、受講生同士でお互いに教え合ったり、打つ太鼓に遠慮したり、時には上手く叩けず涙したりと、幾つかの試練がありましたが、今では堂々と歌って、踊って、叩けるようになりました。

この伝承教室で、子どもたちは単に鳥羽踊りを習うだけでなく、思いやりの気持ちや、やれば出来る自信



を身につけたことと思います。発表後には閉講式が行われ、皆勤賞・精勤賞が受講生に贈られました。来年度も、子ども伝承教室を行います。今受講している子どもさんとはもとより、習ってみたいと思っている子どもたち！受講をお待ちしております。

ご寄付ありがとうございました

県主地区社会福祉協議会へ

岡田 克也様(亡母)

岡田 廣康様(亡母)

安原 由弘様(亡父)

紙面をもってお礼にかえさせていただきます。

出生おめでとうございます

筒井 龍・怜菜さん

男の子千冬(ちふゆ)ちゃん

令和4年12月1日生まれ

県主地区の人口・世帯数

地区全体

世帯数……530世帯

(門田町……302世帯)

(西方町……228世帯)

人口……1,201人

(門田町……693人)

(西方町……508人)

男 性……564人

(門田町……335人)

(西方町……229人)

女 性……637人

(門田町……358人)

(西方町……279人)

65歳以上……483人

(門田町……299人)

(西方町……184人)

高齢化率……40.2%

(門田町……43.1%)

(西方町……36.2%)

令和5年2月末現在